森村商事株式会社
MORIMURA BROS., INC.

ファミリービジネスの先駆者がつむぐさらなる未来

森村商事株式会社代表取締役社長
森村裕介さん

昭和49年(1974)「森村本社ビル」全景
(森村商事株式会社ホームページより)

現在の「森村ビルディング」東京本社外観

創業当時から受け継がれる森村組の精神

オールド・ノリタケと言えば、明治から昭和の初めまで欧米に輸出されていた西洋陶磁器。デザインの芸術性や繊細な細工が高く評価されており、現在も収集家が多いことで知られています。その世界的に有名なオールド・ノリタケをはじめ、ヨーロッパの製品に劣らぬテーブルウェアを製造したのが森村組でした。

オールド・ノリタケの画帖(森村商事株式会社ホームページより)

その森村組も先の大戦で資産の大半を失う打撃を受け、昭和21年(1946)7月、戦後の新しい時代に対応すべく、社名を「森村商事株式会社」と改称し、心機一転の再出発を志しました。

以降、現在に至るまでセラミック原料、航空機材、樹脂、化成品から香料まで幅広い原料および素材を取り扱う貿易会社として発展を遂げてきました。

森村組の社史

森村商事の歴史は、明治9年(1876)の森村組の創立に始まります。139年の壮大な物語とも言える、その紆余曲折に触れることができた今回の取材では、胸が熱くなるファミリーストーリーを伺いました。

森村ファミリーの6代目当主、森村市左衛門は、万延元年(1860)、日米修好通商条約批准書交換のため江戸幕府が遣米使節をアメリカに派遣した際に、土産物や外貨の調達を命ぜられます。この時、日本の小判とメキシコ銀の交換という外貨両替の仕事が、市左衛門の海外貿易への開眼をもたらします。

金安銀高の相場による交換比率の不利を知った市左衛門は、「仮に"金"がなくなってしまったら、日本の将来はいったいどうなるのだろうか」という不安を、若き日の福沢諭吉にぶつけてみます。福沢は「日本の商品を輸出して"金"を取り返す以外に道はない」と即答。海外貿易の重要性に目覚めつつあった市左衛門は、貿易立国の大志を固めるに至ったのです。

これを機に当時慶應義塾で学んでいた弟、豊(とよ)に協力を求めると、「兄さんが国家のためになさるということであれば、私も国家のためにならどんなことでも致します」と答えたとの記録が残っています。当時の若者の日本国への愛国心をこのインタビューで知ることができ、深く感銘を受けました。

左から、取締役常務執行役員 片桐誠さん
総務部長兼社長室室長 植村哲男さん
森村不動産株式会社管理部部長 村上泰重さん
社長室マネージャー 安田雪美さん

明治9年(1876)3月、森村兄弟は日本の貿易業界の草分け「森村組」を銀座四丁目に創立。豊は4月にニューヨークに渡り、イーストマン商業学校にて会話や商習慣を習得し、貿易の準備を始めます。9月の学校卒業と同時に、ニューヨークのフルトンストリートに貸店を見つけ、小さな日本商品の雑貨商を開業しました。これが今日の(株)ノリタケカンパニーリミテドやTOTO(株)、日本ガイシ(株)、日本特殊陶業(株)へと発展を遂げる森村組の礎石となったのです。兄の市左衛門が陶器、提灯、人形、銅器を日本から発送し、弟の豊が売りさばく。日本人の出店は、少しずつアメリカ人の注目を集めていきました。

明治11年(1878)、森村ブラザーズを設立。森村組のニューヨーク進出が実現しました。

向かって右が市左衛門、左が豊
(森村商事株式会社ホームページより)

大正15年(1926)11月11日ニューヨーク森村ブラザーズ創業50周年記念パーティー
(森村商事株式会社ホームページより)

そして明治16年(1883)、フランス製のコーヒー茶碗が見本として東京に送られ、純白の国産磁器への挑戦の日々が始まります。明治22年(1889)のパリ万博に訪れた森村兄弟が、各国の優れた陶磁器を見て、日本の技術の遅れを痛感したからなのでしょうか。白色硬質磁器のディナーセットが完成したのは、20年以上も苦心研究した大正3年(1914)、第一次世界大戦勃発の年でした。

その間に、森村組は衛生陶器や高圧碍子(がいし)の生産を始めますが、それは「国益にかなう」との決断ゆえであり、日本の市場を独占する外国製品の輸入を防ぐ目的がありました。その底流には、市左衛門の抱いた貿易立国の思想が受け継がれています。また、森村学園をはじめ、北里研究所、日本女子大学、慶應義塾などいくつかの教育事業にも共鳴した市左衛門は、人材の育成に私財を投じることを惜しまなかったそうです。

世界に通用する森村組のファミリーマネジメント

第二次世界大戦開戦とともに、65年間活躍を続けたニューヨークの森村ブラザーズを閉店。今回の取材で見せていただいた写真の中でも、大正15年(1926)に行われたニューヨーク森村ブラザーズ創業50周年記念パーティーの写真は印象深いものです。Dinner and Danceと題したアメリカの従業員のためのパーティーで、皆が見せている笑顔が、森村ブラザーズがアメリカにおいてファミリーマネジメントを成功させたことを物語っています。仲の良いファミリーのようなビジネスであったからこそ、戦時にあっても国境を越え、多くの従業員が森村組の撤退を惜しんだそうです。

戦後は、いくつもの優良企業を生み出しながら、一社一業種を社是として一つ一つ手放して独立させ、そのどれもが今日も第一線で活躍する企業として飛躍を果たしています。

虎ノ門から未来への発展に

森村商事は、139年にわたり国際的ビジネスを営み、昭和35年(1960)に虎ノ門交差点角に本社を構えてからも、55年の歳月がたちます。現在、虎ノ門は「国際戦略総合特区(アジアヘッドクォーター特区)」に指定され、国際ビジネスの拠点として競争力を高める都市機能を備えた、国際的ビジネス・交流拠点としての整備が求められています。環状二号線、虎ノ門ヒルズに続いて、森村ビル一帯も虎ノ門駅南地区計画内B街区として、虎ノ門駅の機能拡充や駅前拠点にふさわしい都市防災機能の向上を図るとともに、業務、商業機能の充実を期待されています。再開発事業の実現に向けて、活動拠点も新しい構想に合わせた変化をしていくようです。

長い歴史を持つ森村商事は、貿易のパイオニアとしての老舗の顔を持つと同時に、この虎ノ門地区の海外への窓口として、また新しい風を吹かせることでしょう。

［文■早川由紀　取材■森 明、早川由紀］

●取材協力(敬称略)
森村商事株式会社代表取締役社長 森村裕介／取締役常務執行役員 片桐 誠／総務部長兼社長室室長 植村哲男／社長室マネージャー 安田雪美／森村不動産株式会社管理部部長 村上泰重

●参考文献
森村商事(株)「森村百年史」(1986.10)

日本の労働運動発祥の地

友愛労働歴史館

「ベア」「定昇」「時短」…毎年春頃に「春闘本格的にスタート」などというタイトルとともに、新聞紙上やテレビニュースをにぎわせる労働運動の用語です。労働運動は、今日では労働者の待遇や地位向上のために法律によって保証されている権利です。しかし、明治維新後の日本では、「富国強兵」「殖産興業」の名のもとに急速な工業化は進んだものの、労働者の労働環境は苛酷なものでした。

平成24年(2012)竣工の友愛会館と100周年記念モニュメント「暁・ぎょう」

▶「ユニテリアン教会・惟一館」外観図
明治27年(1894)3月

▼明治27年(1894)建築当初の惟一館

友愛労働歴史館事務局長
間宮悠紀雄さん

友愛労働歴史館石碑

日本初の全国的労働組合「友愛会」の結成

日比谷通りの芝園橋に近い、芝商店街の入口に「日本労働運動発祥之地」の石碑があります。ここは日本の労働運動の源流となった「友愛会(現在の連合)」の誕生の地である「ユニテリアン教会・惟一館(ゆいいつかん)」があった場所です。

「ユニテリアン」とは、進歩的・合理的な考え方を持つ、キリスト教プロテスタント派の一つです。明治22年(1889)に米国ユニテリアン協会からC・マッコーレイ牧師が来日し、明治27年(1894)には「ユニテリアン教会・惟一館」が建設されますが、建設を支援しユニテリアンを支えたのが、慶應義塾を設立し、教育者であり思想家である福沢諭吉(1835～1901)でした。

「ユニテリアン教会・惟一館」は、ニコライ堂(千代田区神田駿河台)や綱町三井倶楽部(港区三田二丁目)なども手がけた、日本近代建築の父と呼ばれるジョサイア・コンドル(1852～1920)の設計です。コンドル建築のなかでは大変珍しい和洋折衷の設計でしたが、昭和20年(1945)5月の空襲によって焼失しました。

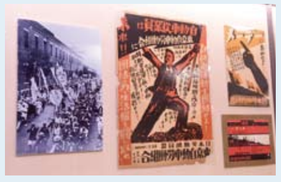
当時、芝区三田四国町の惟一館周辺は、東京の代表的な工業地帯であり、芝浦製作所、煙草専売局第二製造所、沖電気、日本電気、池貝鉄工所など、大工場が立ち並んでいました。ユニテリアンはそこで働く工員のために「労働者講話会」を開催し、労働者の啓蒙活動に取り組みました。

元朝日新聞社の記者であり、ユニテリアン教会で職員兼C・マッコーレイ牧師の秘書として働いていた鈴木文治(1885～1946)は、労働者の悲惨な生活状況の改善と向上のために、自ら労働運動に身を投じる決意をして、大正元年(1912)8月1日、日本で最初の全国的労働組合を賛同者14名らと結成し、「友愛会」と命名しました。

「友愛労働歴史館」オープン

「友愛会」の設立から100年の節目となった平成24年(2012)8月1日、「ユニテリアン教会・惟一館」跡地に「友愛会館・三田会館」が建設され、8階に「友愛労働歴史館」がオープンしました。「友愛労働歴史館」では、日本の労働運動を中心とする社会運動に関する資料の収集・保存、調査・研究、展示・情報発信を行っています。また、定期的に専門家を招いての講演会・勉強会も開催しています。

労働運動の当時の写真やポスターを展示



当館の事務局長である間宮悠紀雄(ゆきお)さんに、館内を案内していただきました。現在、常設展として「日本労働運動の100年余」をテーマに展示中ですが、「友愛会」の資料のほかにも、日本の社会主義運動の父と言われる安部磯雄(1865～1949)や、昭和の「友愛会」を支えた新渡戸稲造などの先人のメッセージ、さらに労働運動に実際に使用された組合旗や当時のポスターなども展示されており、労働運動の歴史を感じることができます。

また、企画展も行われており、労働運動・社会運動の研究者や大学生、企業の労働運動関係者のほかに、惟一館の設計資料などを求める建築家の来館もあるそうです。

友愛労働歴史館内観

［文■菊池弓可］

企画展
「日本野球の父、日本社会運動の父―安部磯雄」
開催期間 ～平成27年7月14日

●参考文献　友愛労働歴史館ホームページ他提供資料
鈴木文治のいる風景　芳賀清明　無明舎出版
評伝鈴木文治　吉田千代　日本経済評論社

Information

友愛労働歴史館
芝2-20-12　友愛会館8階一般社団法人日本労働会館内
TEL 050-3473-5325
●ホームページ　http://yuairodorekishikan.com/

区役所のサービスや施設・催しの案内はみなとコールがお答えします！　TEL03-5472-3710　年中無休 午前7時～午後11時

芝パークホテル 中國料理 北京

ホテル本格スイーツ
ご家庭でも簡単に
作ることができる!

二色グレープフルーツのクリーム杏仁豆腐で、初夏のおもてなし!

つるっとした真白い杏仁豆腐一面に、彩りさわやかな柑橘ジュレ。ジュレソースには、甘味と酸味の異なる二種類のグレープフルーツを合わせることで、柑橘系の良さがそのまま味わえ、クリーミーな杏仁豆腐にとても良く合います。

閑静で緑豊かな芝公園一丁目に位置する芝パークホテルは、昭和24年(1949)創業、半世紀以上の歴史を刻んできました。昭和35年(1960)同館内に開業した「北京マンション」は、国内で初となるホテル直営の中国レストラン。現在の「中國料理 北京」の前身です。

今回ご紹介するスイーツレシピは、平成27年(2015)3月10日にリニューアルオープンしたばかりの芝パークホテル別館内「中國料理 北京」の料理長、越川 智さんに提供していただきました。

二色グレープフルーツのクリーム杏仁豆腐 レシピ(4人分)

グレープフルーツは、見た目は分かりづらいですが、皮をむくと色の違いが分かります。赤は、甘みが強く、白は、酸味があります。

●クリーム杏仁豆腐

Ⓐ
- 水……150cc
- 砂糖……35g
- 杏仁パウダー……8g

板ゼラチン……8g
牛乳……250cc
生クリーム……100cc

●グレープフルーツソース(2種)

Ⓑ
- 杏露酒……100cc
- 水……200cc
- 砂糖……200g

板ゼラチン……6g
グレープフルーツ赤・白各1つずつ

❶ 分量外の水でゼラチンをもどしておく。
❷ 鍋にⒶの材料をよく混ぜ合わせ、火にかけて沸騰させる。
❸ 火を止めてからもどしたゼラチンを入れよく混ぜる。
❹ 別の容器に牛乳を入れ、❸を一気に入れよく混ぜる。
❺ ある程度温度が下がったら生クリームを加え、容器ごと氷水で冷やしながら軽くとろみがつくまで静かに混ぜる。
❻ とろみがつき始めたら器に流し入れ、冷蔵庫で固める。

❶ 分量外の水でゼラチンをもどしておく。
❷ グレープフルーツは薄皮までむき果肉に。赤と白それぞれ別々にしておく。
❸ Ⓑの材料を混ぜ合わせたあと2等分に分け、赤と白のグレープフルーツをそれぞれに入れる。
❹ ❸を火にかけ沸騰したら火を止め、もどしたゼラチンを半分量ずつ加え、よく溶かす。
❺ 氷水で冷やしながら混ぜ合わせ、とろみがついたらクリーム杏仁豆腐にのせて完成!

POINT 生クリームは、ゼラチンが程よく冷めたところ(人肌程度)に混ぜ合わせること。

「中國料理 北京」料理長 **越川 智**さん

越川料理長からの「温かいものは、あったかいうちに、冷たいものは冷たくおいしく」というおもてなしの言葉には、中国料理ならではのスピード感と手際良く作られる世界観がうかがえます。ぜひ「二色グレープフルーツのクリーム杏仁豆腐」で、初夏の涼やかなひとときをお楽しみください。

[文・写真 ■ 桑原庸嘉子]

Information

芝パークホテル
芝公園1-5-10　TEL 03-3433-4141

芝地区のゆるキャラたち

東京モノレールの“モノルン”
“出会うと幸せが訪れる、青い鳥”

「姿を見た人は幸せになれる」という青い鳥。浜松町駅を起点に、羽田空港まで続く東京モノレールの沿線にひっそりと暮らしていて、いつ会えるかは分からない。そんな気まぐれな青い鳥の男の子。名前は「モノルン」です。

モノルンが誕生したのは平成24年(2012)。東京モノレールが、同年このキャラクターにふさわしいネーミングを公募するキャンペーンを実施し、一般公募で名前が決定しました。“モノルンと出会うと幸せが訪れる”のは、ご利用いただいたお客さまに幸せな気持ちがたくさん訪れますように、という気持ちが込められているから。おでかけする時の楽しい心が弾むような、ルンルンという響きが名前の中に入っているのも、「東京モノレール」に乗った時に感じる、まるで空の上を走っているようなわくわくするイメージにぴったりです。

モノルンのことを知ってモノレールに乗ると、楽しいおでかけがより一層わくわくしたものになります。通勤でモノレールに乗る人も、ふとモノルンのことを思い出してみてください。きっと心が和むでしょう。忙しい朝にホームにいることもあるとか。気付かないうちに、あなたもモノルンに出会っているのかもしれませんね。

[文 ■ 齋藤恵里花]

プロフィール

幸運の青い鳥とは・・・

「姿を見た人は幸せになれる」と言われている、幸運の青い鳥。

東京モノレール沿線でひっそりと暮らしているが、神出鬼没で、いつどこで会えるかわからない。

意外と大胆に駅のホームを歩いていることもあるが、忙しい朝などは気付かれないことも多い。

基本マイペースで、
エサをあげても気に入らなければ食べなかったり、機嫌良さそうに歌ったり、踊ったりしていても、急に飽きて飛んでいってしまったりと自由気ままな性格。

身長:60cmくらい
好きなもの:飛行機。こうや豆腐。
特技:歌をうたうこと。長い距離を歩くこと。

© 2012TMR/dwf

芝地区 いきいきプラザ イベント編

芝地区の3つのいきいきプラザでは、各施設が特色あるさまざまなイベントを行っています。今回は、そのいくつかを紹介します。

みたまつり 三田

毎年、夏祭りを開催しています。昨年は「家族」をテーマに実施。ヨーヨー釣りや金魚すくいなど、懐かしく、夢中になれるゲームが盛りだくさんで、子どもから大人までたくさんの人が参加しました。

とらトピア夏祭り 虎ノ門

虎ノ門高齢者在宅サービスセンターとともに、夏祭りを開催しています。毎年すぐに完売してしまう喫茶スタッフ手作りの食事のほか、盆踊りや合唱なども行われ、大変盛り上がりました。

プラザ神明フェスティバル 神明

保育園や子ども中高生プラザとともに、夏と冬に2回開催しています。夏には国際交流、企業交流、文化交流を目的として、大使館や企業、芝会議地域コミュニティ部会などが出展し、伝統的な楽器による音楽演奏やうちわづくり、フットサル体験などが行われました。普段なかなか体験できることのないブースが多いのが魅力で、子どもから大人まで皆が楽しんでいました。

冬の目玉は、なんといってもフェスティバルのステージとフィナーレです。ステージでは、英語カラオケ教室の皆さんによる発表などがあり、1年間練習してきた成果を披露する場になっています。フィナーレでは、毎年恒例の職員による出し物と大抽選会が行われ、大変盛り上がります。

他にも、年に2回(9月と3月)芝会議まちづくり部会による防災勉強会が開かれているほか、2階展示スペースでは、随時さまざまな展示も行われています。

そのほかのイベント

バスハイク 三田 神明 虎ノ門

大型バスを貸し切り、東京近郊へ日帰りツアーに行きます。毎回参加者多数のため、抽選になるほどの人気の企画です。大勢で行く旅は、個人で行く旅とはまた違った楽しみがあります。昨年は茨城県阿見町にて芋掘りに参加し、手打ちそば、地の野菜を使った天ぷらを楽しみました。

七夕まつり 三田 神明 虎ノ門

各施設で笹を準備し、飾り付けを行います。近くの保育園や児童館の子どもたちが遊びに来て、施設の利用者と一緒に飾り付けを行います。飾り付けを楽しむ子どもたちの笑顔には、とても癒されます。

ひなまつり 神明

「和を重んじよう」をテーマに、和文化体験を行っています。着付け、華道、茶道、紙すきなど盛りだくさん。舞踊や和太鼓を聞きながら、ひなまつり特別ランチを食べることができます。

ここでは紹介しきれないくらい、毎月いろいろなイベントを行っているいきいきプラザ。本誌では毎号さまざまなテーマで施設を紹介していますが、一度、実際に出かけてみるのが一番です。ぜひ、気軽に遊びに行ってみてください。

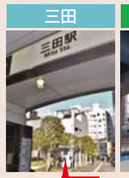
[文・写真 ■ 米原剛]

●写真・資料提供
指定管理者:湖聖会・東急コミュニティー共同事業体

Information

三田いきいきプラザ
芝4-1-17　TEL 03-3452-9421
神明いきいきプラザ(プラザ神明)
浜松町1-6-7　TEL 03-3436-2500
虎ノ門いきいきプラザ(とらトピア)
虎ノ門1-21-10　TEL 03-3539-2941
●ホームページ　http:// www.toratopia.com/

三田



神明

虎ノ門

区役所のサービスや施設・催しの案内はみなとコールがお答えします!　TEL03-5472-3710　年中無休 午前7時～午後11時

芝公園でさわやかコーヒーを

久緒羅珈琲
KUORA COFFEE

はるばる伊勢から増上寺参り？

昨年の暮れ、増上寺の赤門（大門）近くに「久緒羅珈琲」はオープンした。三重県は伊勢から上京した3人家族が開いたお店だ。

ご主人の徳本泰久さん、奥さまの玉緒さん、お嬢さんの沙羅さんの名前から一文字ずつとり、久緒羅珈琲という店名になったそうだ。お仕事の合間、泰久さんに開店のエピソードなどを聞かせていただいた。

「30年ほど三重県職員として仕事をしてきましたが、珈琲店はわたしの長年の夢だったんです。芝公園の落ち着いた雰囲気が気に入り、新たな出発の場所に選びました。東京には友人もいないので、町会長の池田さんをはじめご近所の方々にいろいろと教えてもらい、今は安心してお店をやっています」。

笑顔の玉緒さんは「東京の人通りの多さにビックリしました！この辺りは赤門をはさんで大門と芝公園と、かなり雰囲気が違いますね。閑静な芝公園をとても気に入っています。年配のご夫婦が仲良く歩いていたり、心にゆとりのある方が多いように感じます」と、西のアクセントで優しく話してくれた。

増上寺を中心に公園とお寺が並ぶこの界隈の環境の良さを、伊勢と同様に感じてもらえたようだ。

さわやかな味わいのサイフォンコーヒー

泰久さん自慢のコーヒーは、光サイフォンテーブルという抽出器具を使っている。ハロゲンランプの熱源が、素早くお湯を沸かす。「この方式を使っているお店は、まだ少ないと思います。抽出時に温度の管理がしやすく、味と香りが凝縮し、すっきりとした味わいのコーヒーになるんです。豆は桑名の友達の店から焙煎したものを取り寄せているんですよ。淹れている様子も、楽しんでいただけると思います」。入口のショーケースには、ケーキと和菓子が並んでいる。定番の2種類のチーズケーキは玉緒さんのお手製で、コーヒーによく合う軽やかなおいしさだ。「外国人のお客さまが多いので和菓子を用意したのですが、とても喜んでくださるんですよ」と玉緒さん。「近くで働いているお客さまには、さっと食べてコーヒーも楽しんでいただけるよう、わたしたちの地元の味である伊勢うどんをメニューに加え、ご要望の多かったコーヒーのテイクアウトにもお応えしています」。家族での試行錯誤が続いているようだ。

「主人は穏やかそうに見えるけど、思ったとおりに突き進むガンコなところもあるんです」と笑う玉緒さんと、「冷静だけど、のんびりやさんかな？」と玉緒さんのことを楽しそうに話す泰久さん。「長年のお父さんの夢がかなったこの店で、お客さまがコーヒーをおいしい！と言ってくださると、とても嬉しい」と、美人の沙羅さんが話してくれたとき、目頭が熱くなった泰久さんの表情が優しくくずれた。

家族でお待ちしています！

一杯ずつ丁寧に淹れられるコーヒーと、温かみを感じるランチやケーキ。ナチュラルな色合いの店内と清潔なオープンキッチンは、明るくて気持ちがいい。BGMは玉緒さんセレクトのゆったりとした曲調のオールディーズ。広いカウンターで泰久さんがコーヒーを淹れるのを眺めていると、つい長居してしまいそうだ。

「ぜひ、ふらっとお立ち寄りください。この夏はかき氷もお出ししようと思っていますので、召し上がってみてくださいね！」と泰久さん。

家族の思いにあふれていて、でもさり気ないのは、西と東の空気がうまく溶けあっているからなのか。久緒羅珈琲は芝公園で今、わたしが最も気になっている店だ。

［文・写真■森田友子］

●取材協力　徳本泰久さん、玉緒さん、沙羅さん

Information

久緒羅珈琲
芝公園1-7-14　TEL 03-6459-0739
●ホームページ　http://www.facebook.com/kuoracoffee

〝こいのぼり掲揚式〟に参加しました

児童福祉週間（5月5日〈こどもの日〉から11日）に先立ち、厚生労働省で毎年行われている「こいのぼり掲揚式」に、今年度は港区の保育園が招待され、4月27日に芝公園保育園と伊皿子坂保育園の年長組が参加しました。当日、塩崎厚生労働大臣、横綱白鵬関と一緒に綱を引き、こいのぼりを空高く揚げてきました。

園児はミニこいのぼりを泳がせながら「こいのぼり」と「おひさまになりたい」の2曲を元気に歌い、こどもの日をお祝いしました。

今年の児童福祉週間の標語は「世界には 君の輝く 場所がある」です。“はぐくむまち港区”として、子どもの健やかな成長を願います。

塩崎大臣、白鵬関と一緒に記念撮影

江戸庶民から奉納された銅鳥居

寒参りから帰る人々

広重が描いた「虎の門あふひ坂」

現在、虎ノ門一丁目交差点付近に鎮座する「金刀比羅宮」。江戸時代には讃岐丸亀藩主京極家の敷地内にありました。京極家では讃岐の「金刀比羅大神」を分祀し、「航海安全祈願」「除災招福」の神として崇信していましたが、この霊験のある神を参拝したいという声が広がったため、毎月10日を参拝日として許しました。

歌川広重（1797～1858）は、「名所江戸百景」の中で「虎の門あふひ坂」として当時の金刀比羅宮とその参拝の様子を描きました。奉公人と思われる裸姿の2人は、金刀比羅宮への寒参りを終えて帰る様子です。この人物の上には屋台の蕎麦屋も描かれています。

奉納された銅鳥居

本殿の前にある鳥居は、300人余りの人々によって、文政4年（1821）に奉納されたものです。鳥居の左右の円柱の下には、寄進した人々の氏名・住所・職業などが刻まれています。

鳥居の円柱に掘られた文字の中には、懐かしい町名を見ることができます。芝中門前（現芝大門）、芝湊町（現浜松町）、桜田兼房町（現新橋）、木挽町七丁目（現銀座）、神田塗師町（現鍛冶町）などです。

次は、商店の屋号です。「大坂屋」「伊勢屋」「秩父屋」「播磨屋」「駿河屋」など、商人の出身地を店の名前として付けたのでしょうか。

また、寄進者の住所を見ると現在の港区が一番多く、次に中央区、台東区、千代田区、品川区、墨田区などが続いています。さらに、長野県、千葉県、茨城県などの住所も見られ、広範囲から寄進があったことが分かります。

鳥居の柱に刻まれた氏名等

金刀比羅宮の西側道路

にぎわいを伝える新聞記事

明治22年（1889）12月11日の東京朝日新聞が、納めの金刀比羅宮のにぎわいを報じています。「昨10日は、本年お名残の金毘羅神社小祭日なりしが、近頃の天気続きにて殊（こと）に朝来の快晴に乗じ近在近郷の信心連れは草鞋がけに薄氷踏みくだきて参詣に来る者夥しく（以下、省略）」。

このように江戸庶民に親しまれた金刀比羅宮。現在も大勢の人々が虎ノ門の地を訪れ、参詣しています。

［文■清田和美］

●参考文献
芝区誌
名品揃物浮世絵　広重1
ぎょうせい　平成3年（1991）刊

芝にある風景

旧芝離宮恩賜庭園

旧芝離宮恩賜庭園は、江戸幕府の老中、大久保忠朝の上屋敷の庭園であったのが、宮内庁の離宮を経て大正13年（1924）に東京市に下賜された歴史を持つ都立公園です。

わたしが小学校低学年の頃は、まだ入園料もなく、当時住んでいた新橋六丁目から徒歩15分のこの場所が絶好の遊び場でした。西湖堤の池でアメンボウやメダカ、ザリガニ、カメなどを採ったり、木登りしたり。定期的に見回りにくる管理人さんに怒られたのもいい思い出です。

今でも回遊庭園に咲く四季折々の花々を愛でに、度々友人と訪れています。春の桜も美しいですが、初夏にかけてサツキや菖蒲、紫陽花に彩られる庭園は、とても風情があります。

喧騒の浜松町駅に隣接しているにもかかわらず、穏やかな雰囲気に包まれた空間で、季節を感じながらのんびり散歩。そんなひとときをぜひ楽しんでほしいです。

絵・文 大野正晴

●大野正晴　昭和26年（1951）生まれ。新橋で生まれ育ちましたので、特に港区、芝地区には愛着を持っています。この地域は歴史的な名跡が多く、ニュースポットもいろいろとあります。心に感じた風景を今後も描き続けたいと思っております。
36年間、新橋にあるタカトク金物（株）に勤務。

本誌に掲載した記事に出てくる施設などをまとめました。
ウォーキングマップとしてご活用ください。

芝地区MAP

区役所のサービスや施設・催しの案内はみなとコールがお答えします！　TEL03-5472-3710　年中無休 午前7時～午後11時

お知らせ

「芝地区クリーンキャンペーン～路上喫煙ゼロのまち!～」に参加しませんか

芝地区では年間に10回、町会・自治会、商店会、PTA、事業所、警察、消防など、地域の皆さん約200～350名が協力し「芝地区クリーンキャンペーン～路上喫煙ゼロのまち!～」を実施しています。このキャンペーンでは、「みなとタバコルール」の周知・啓発活動をはじめとして、地域の清掃活動、放置自転車や路上看板への警告札貼り付け、ガム痕の除却などを行っており、平成26年度は延べ3,000人以上の方にご参加いただきました。

また、地域の皆さんの交流を促進し、お互いに助け合えるまちをつくることも活動の目的としています。参加を希望される方は、当日、直接会場までお越しください。

■今後の実施予定は以下のとおりです。

実施予定日	活動場所（集合場所）
6月18日（木）	虎ノ門駅・神谷町駅周辺（虎ノ門36森ビル広場）
7月16日（木）	内幸町駅・御成門駅周辺（南桜公園）
9月17日（木）	新橋駅・内幸町駅周辺（桜田公園）
10月15日（木）	田町駅・三田駅周辺（本芝公園）

※年間スケジュールは、港区ホームページをご覧ください。

芝次郎

●午前8時30分から約1時間の活動です（午前8時、受付開始）。
●必要な用具などはすべて貸し出ししています。
●参加された方には芝地区キャラクター「芝次郎」の記念品を差し上げます。

問合せ先　芝地区総合支所協働推進課協働推進係　TEL03-3578-3121

みなとタバコルール

《条例により区内の公共の場所では》

喫煙禁止!（指定喫煙場所を除く）

吸い殻のポイ捨て禁止!

芝地区生活安全・環境美化活動推進協議会
港区芝地区総合支所協働推進課

「港区環境美化の推進及び喫煙による迷惑の防止に関する条例」

港区では平成９年（1997）に「港区を清潔できれいにする条例」を制定し、快適な生活環境の確保に取り組んできました。しかしながら、近年、建物内の禁煙化が進んだため、路上での喫煙やたばこの吸い殻のポイ捨てなども多く見られるようになりました。そこで「港区を清潔できれいにする条例」の名称を「港区環境美化の推進及び喫煙による迷惑の防止に関する条例」と改め、これまでも区が進めてきた「みなとタバコルール」の内容を条例で明確に規定することで、より快適な生活環境の確保をめざします。

※「港区環境美化の推進及び喫煙による迷惑の防止に関する条例」は平成26年（2014）7月1日に施行されました。

条例で定める「みなとタバコルール」の内容

［港区内で暮らす人や働く人、訪れる人など全ての人が守るべきルールです］

❶公共の場所において、たばこの吸い殻をみだりに捨ててはならない。
❷公共の場所（指定喫煙場所を除く）において、喫煙をしてはならない。
❸公共の場所以外の場所において喫煙する場合に、公共の場所にいる人にたばこの煙を吸わせることがないよう配慮しなければならない。

※公共の場所とは、区内の道路、公園、児童遊園、公開空地その他公共の用に供する場所（屋外に限る）をいいます。

［港区内で事業活動を行う事業者の方が守るべきルールです］

❹事業者が所有する敷地内で喫煙する場合でも、屋外の公共の場所にいる人がたばこの煙を吸わされることがないよう、その敷地内の灰皿の移動又は撤去、喫煙場所の確保などの環境の整備を行わなければならない。
❺従業員その他事業活動に関わる人に、①～③を遵守させるよう努めなければならない。

お知らせ

ご近所ラボ新橋がリニューアルオープンしました!

地域交流の拠点として新橋六丁目にオープンした「ご近所ラボ新橋」が平成27年4月に1周年を迎え、5月9日にリニューアルオープンしました。リニューアル後は、これまでよりもオープン時間を大幅に増やし、曜日ごとに企画を用意しています。

詳細につきましては、以下のホームページをご覧ください。多くの皆さんのご訪問をお待ちしています。

週間スケジュール（予定）

月曜日	ご近所ダイバーシティ・ラボ（新橋五、六丁目地区のダイバーシティ（多様性）について考察する）
火曜日	ひるラボ（具材を持ち寄り、おにぎりを作るおにぎりランチ会）
水曜日	対話ラボ（ご近所ラボ新橋を利用してどんなことができるのか自由に話し合う場）
木曜日	クリエイティブリユース手しごとカフェ（手芸や染物、料理など、ものづくり全般を行う）

問合せ先　新橋6-4-2　きらきらプラザ新橋1階
TEL 03-6459-0789
ホームページ　http://gokinjo-i.jp/gilab/
芝地区総合支所協働推進課地区政策担当
TEL 03-3578-3192

お知らせ

第10回「ふれ愛まつりだ、芝地区!」を開催します

地域の皆さんが参加し、出店やコンサートで地域の交流を深めます。

ゲームやスタンプラリーなどで、楽しい１日を過ごしましょう。

とき　6月13日（土）
午前10時～午後3時（予定）

ところ　区立芝公園

※小雨実施・荒天中止の場合あり

問合せ先　芝地区総合支所管理課管理係
TEL03-3578-3191

「ふれ愛まつりだ、芝地区!」で「芝会議」による催しを行います

芝地区区民参画会議「芝会議」の3つの部会が、今年も催しを行います。

●まちの魅力発掘部会 … 芝公園付近を巡るまち歩きミニツアー、クイズ、パネル展示ほか
●まちづくり部会…… 防災グッズの配布、パネル展示、緑とふれ合うコーナー
●地域コミュニティ部会… 大声コンテスト、オリジナルうちわづくり

問合せ先　芝地区総合支所協働推進課地区政策担当
TEL 03-3578-3192

お詫びと訂正

芝地区地域情報誌第34号7頁記載の「VOICE芝人」の記事中の表記に誤りがありました。正しくは、「平成12年（2000）に財団法人港区スポーツふれあい文化健康財団（Kissポート財団）で『みなとシティコーラス』が結成されましたが、昨年11月に清水さん率いる『みなと第九を歌う会』が初めて参加しました。」となります。

お詫びして訂正します。

●本誌の制作には以下の編集委員が参加しています。
菊池弓可／清田和美／桑原庸嘉子／齋藤恵里花／酒井郊美／柴崎郁子／柴崎賢一／髙井志保／千葉みな子／早川由紀／町田明夫／森明／森田友子／米原剛
（五十音順 敬称略）

●今後の発行スケジュールは次の通りです。
H27.9.1発行（第36号）、H27.12.1発行（第37号）H28.3.1発行（第38号）、H28.6.1発行（第39号）

芝地区地域情報誌の配布について

芝地区総合支所【芝、海岸1丁目、東新橋、新橋、西新橋、三田1～3丁目、浜松町、芝大門、芝公園、虎ノ門、愛宕】内の地域の方にお届けしているほか、地区内各施設等で配布しています。

港区芝地区総合支所協働推進課　〒105-8511 港区芝公園1丁目5番25号（港区役所2階）
TEL03-3578-3192　FAX03-3578-3180
ホームページ　http://www.city.minato.tokyo.jp/